

**2020年3月期  
第2四半期 決算説明会**

**2019.12.09**

 **カーリットホールディングス株式会社**

**CODE : 4275**

1. 2020年3月期第2四半期 決算概要
2. 2020年3月期 通期見通し
3. 開発品の進捗

代表取締役社長 廣橋賢一

2020年3月期  
第2四半期 決算概要

(単位：百万円)	2019年3月期 第2四半期 実績	2020年3月期 第2四半期 実績	差 異 増 減 率
	<b>売上高</b>	26,525	<b>24,228</b>
売上原価	22,247	20,393	△1,854 △8.3%
販売費及び一般管理費	3,248	3,253	4 0.1%
<b>営業利益</b>	1,029	<b>582</b>	△447 △43.4%
<b>経常利益</b>	1,161	<b>699</b>	△462 △39.8%
<b>純 利 益</b>	726	<b>241</b>	△484 △66.8%

投資有価証券の売却 +320

ボトリング製造ライン不具合に関連する諸施策の費用 △615

(単位：百万円)	売上高			営業利益		
	2019年3月期 第2四半期 実績	2020年3月期 第2四半期 実績	差 異	2019年3月期 第2四半期 実績	2020年3月期 第2四半期 実績	差 異
化学品	11,430	10,953	△477	646	482	△163
ボトリング	9,769	8,349	△1,419	84	△127	△211
産業用部材	4,630	4,052	△578	221	△9	△230
報告セグメント計	25,830	23,356	△2,474	952	346	△605
<b>連結合計</b>	<b>26,525</b>	<b>24,228</b>	<b>△2,296</b>	<b>1,029</b>	<b>582</b>	<b>△447</b>

化学品 化薬分野 = 微増 受託評価・化成品・電子材料・セラミック材料 = 減販

ボトリング 一部の製造ラインに不具合が発生、当該ラインの稼働を一時的に停止、全面的なリニューアル実施

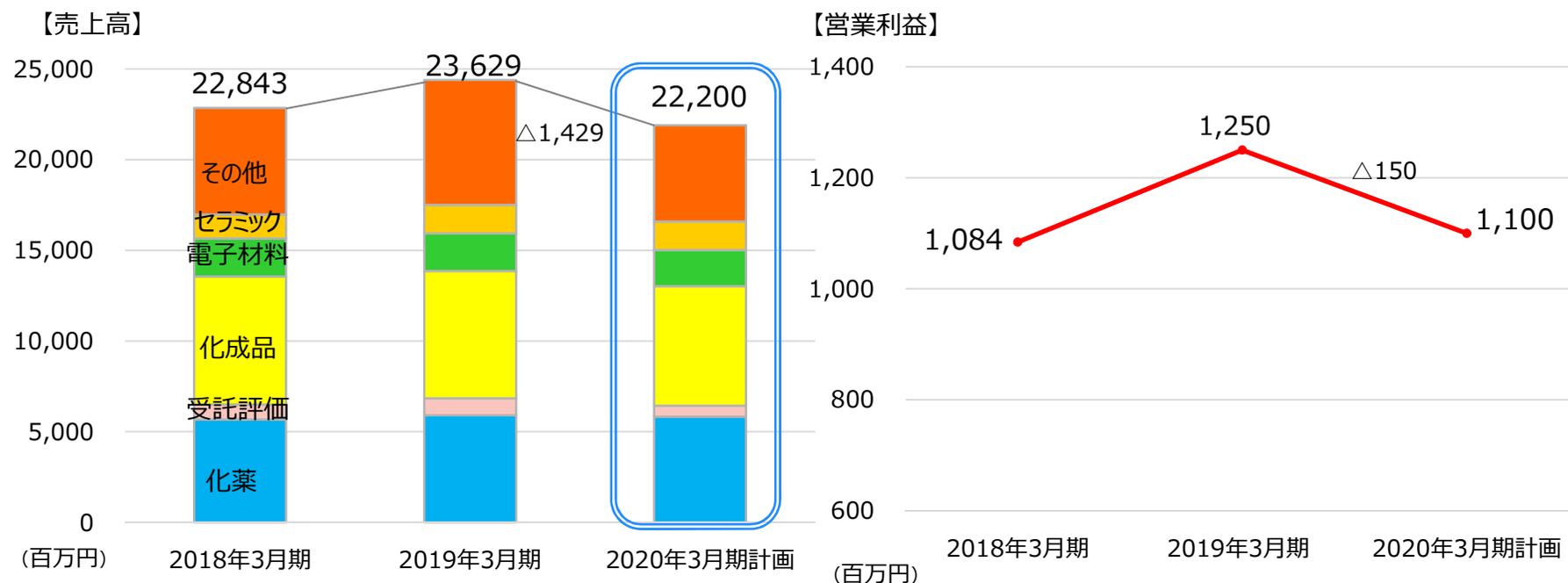
産業用部材 シリコンウェーハ、ばね・座金製品 = 減販 耐火・耐熱金物 = 横ばい

# 2020年3月期 通期見通し

	2019年3月期 通期実績	修正予想 (2019年10月31日)	差異
			増減率
(単位：百万円)			
売上高	54,049	<b>50,000</b>	△4,049 △7.4%
営業利益	2,328	<b>1,750</b>	△578 △24.8%
経常利益	2,551	<b>1,900</b>	△651 △25.5%
当期純利益	1,579	<b>900</b>	△679 △43.0%
配当（1株あたり）	12円	<b>12円</b>	—

	売上高			営業利益		
	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想	差異	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想	差異
(単位：百万円)						
化学品	23,629	22,200	△1,429	1,250	1,100	△150
ボトリング	19,617	17,500	△2,117	425	150	△275
産業用部材	9,056	8,100	△956	297	0	△297
報告セグメント計	52,303	47,800	△4,503	1,972	1,250	△722
<b>連結合計</b>	<b>54,049</b>	<b>50,000</b>	<b>△4,049</b>	<b>2,328</b>	<b>1,750</b>	<b>△578</b>

- 化薬 高速道路向け信号炎管等を拡販
- 受託評価 顧客の動向により危険性評価試験・電池試験とも減収減益  
優位性（一気通貫・受注体制の広汎性など）をアピールし拡販を目指す
- 化成品 利益性の低い購入転売品は減販  
紙パルプ漂白剤・ロケット固体推進薬原料は前期並み
- 電子材料 米中貿易摩擦長期化の影響で減販も高収益製品の寄与により増益  
次世代通信規格「5G」向けの引き合いに期待
- セラミック 研削材の工作機械向け需要減少
- 三協実業 合成樹脂原材料は数量は横ばいも原油価格下落に伴い大幅減販



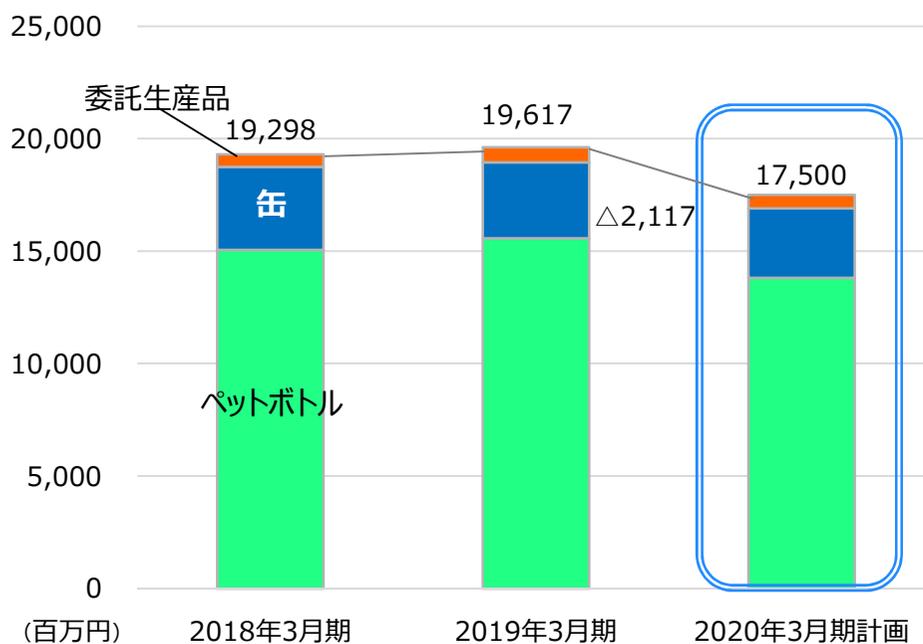
ペットボトル

不具合発生の製造ライン復旧  
下期は安定生産で稼働中

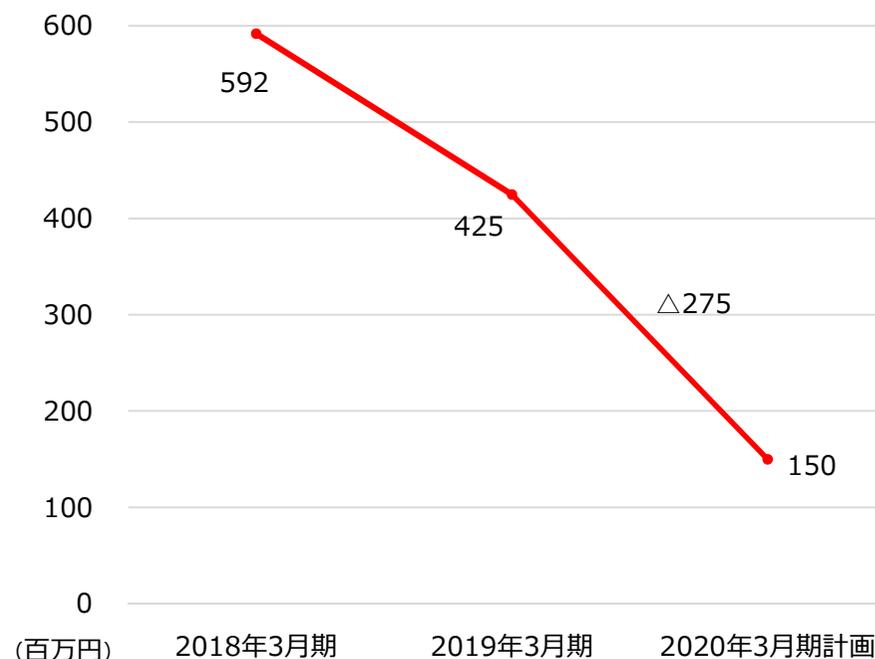
缶

長期契約締結などによる安定受注体制の確立

【売上高】



【営業利益】



シリコンウェーハ

米中貿易摩擦長期化・顧客在庫過多による減収減益  
台湾向けに拡販  
「2019年に底を打ち、2020年より成長に転じ、2022年には過去最高記録を更新する見込み」(SEMI：国際半導体製造装置材料協会)

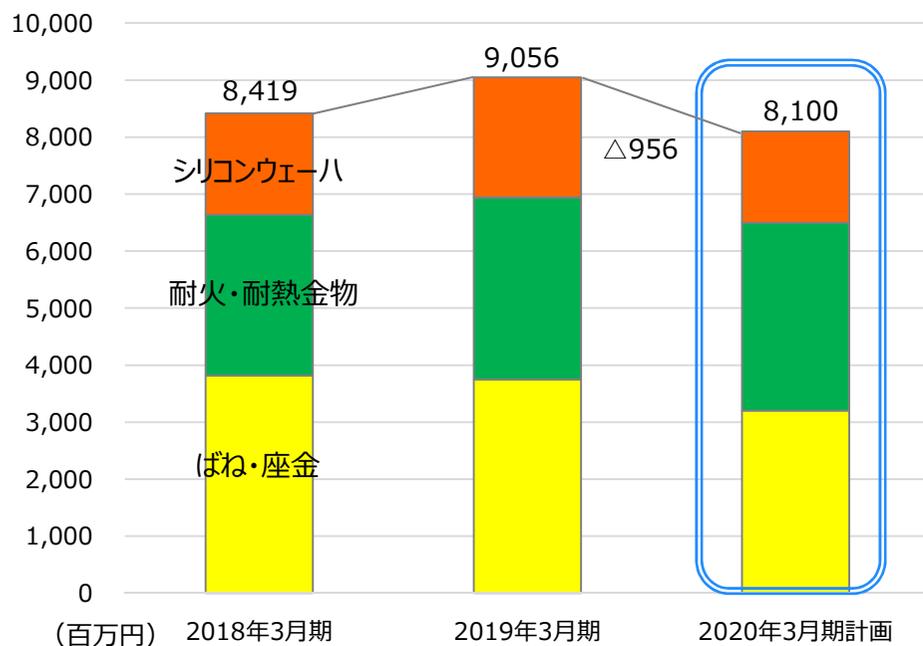
耐火・耐熱金物

セメント工場の大規模改修・東日本大震災がれき減容化に伴う需要増加見込

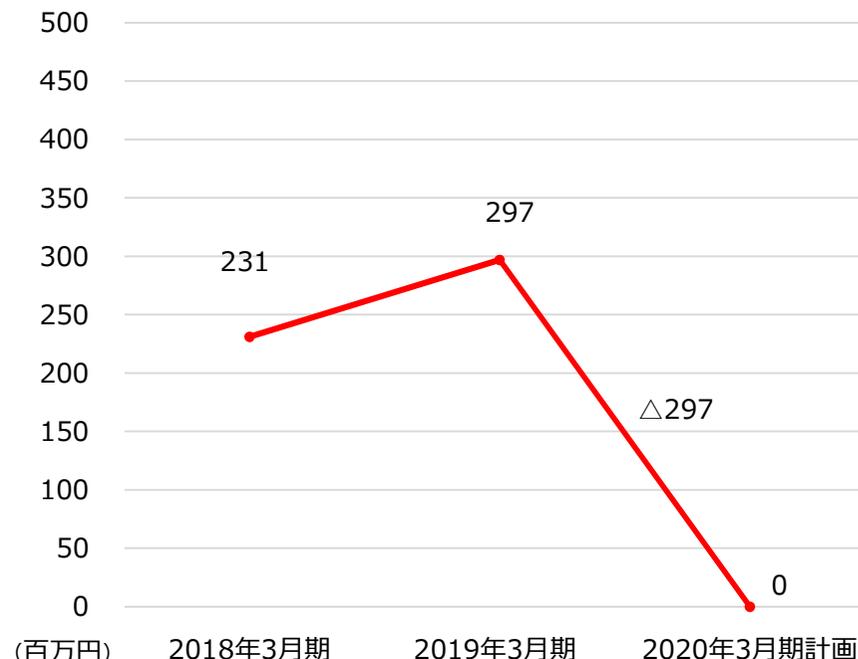
ばね・座金

建機メーカーの不振による減収減益  
収益体質の確立に向けた抜本的な構造改革に着手

【売上高】



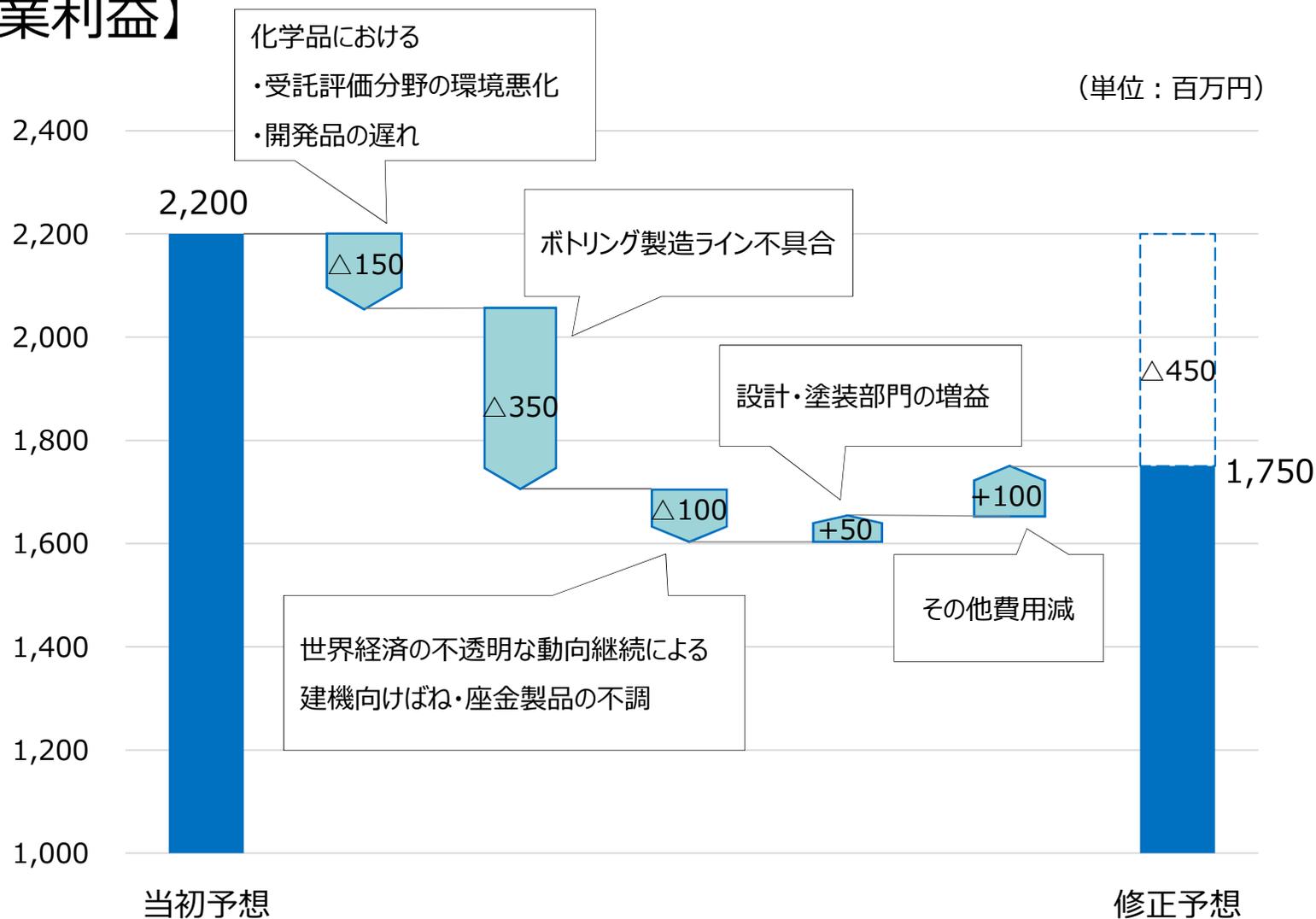
【営業利益】



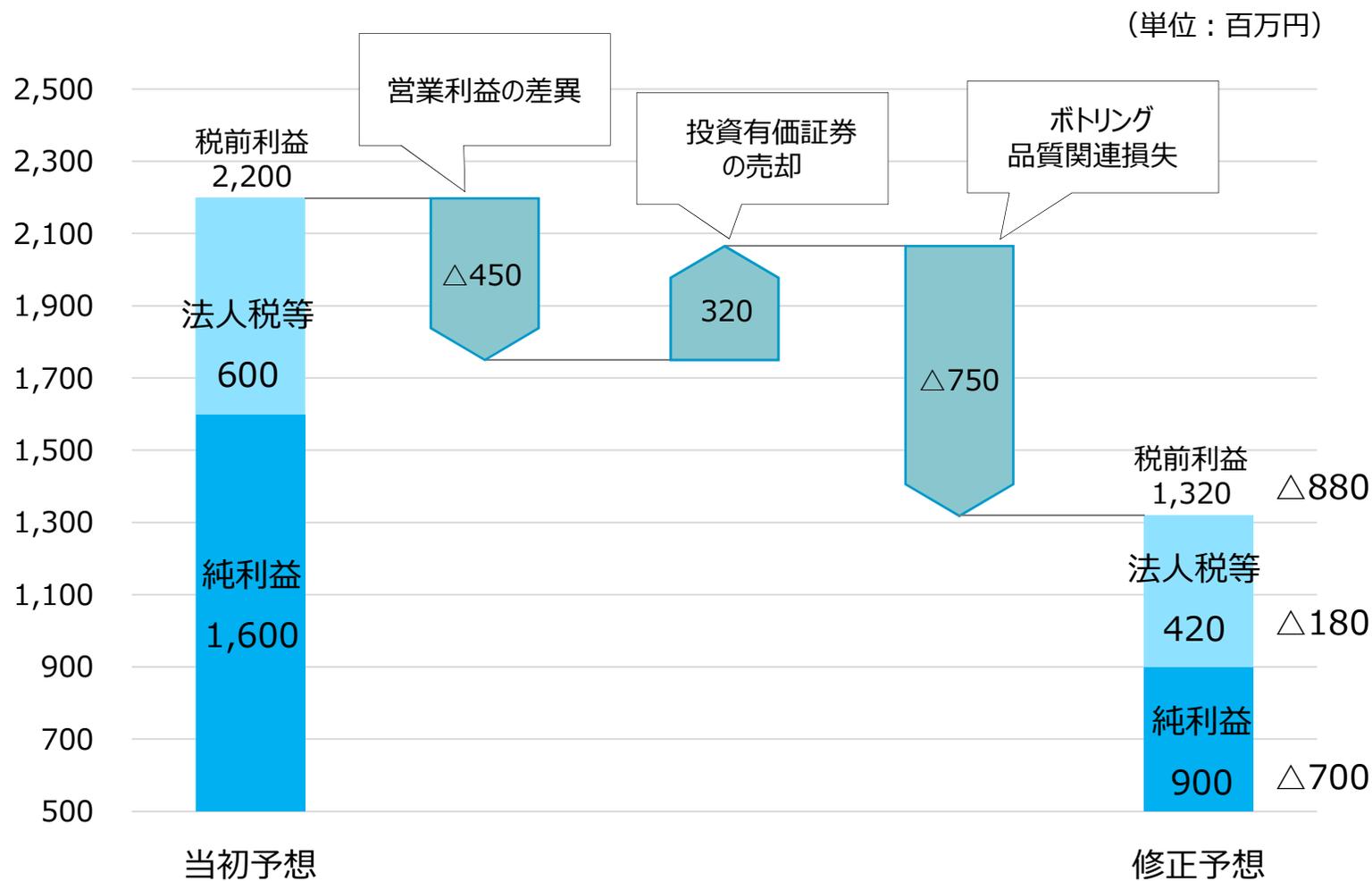
	当初予想	修正予想	差異
	(単位：百万円) (2019年5月15日)	(2019年10月31日)	増減率
売上高	54,000	<b>50,000</b>	△4,000 △7.4%
営業利益	2,200	<b>1,750</b>	△450 △20.5%
経常利益	2,350	<b>1,900</b>	△450 △19.1%
当期純利益	1,600	<b>900</b>	△700 △43.8%
配当（1株あたり）	12円	<b>12円</b>	—

	売上高			営業利益		
	当初予想 (2019年5月15日)	<b>修正予想 (2019年10月31日)</b>	差異	当初予想 (2019年5月15日)	<b>修正予想 (2019年10月31日)</b>	差異
(単位：百万円)						
化学品	23,500	<b>22,200</b>	△1,300	1,250	<b>1,100</b>	△150
ボトリング	19,500	<b>17,500</b>	△2,000	500	<b>150</b>	△350
産業用部材	8,900	<b>8,100</b>	△800	100	<b>0</b>	△100
報告セグメント計	51,900	<b>47,800</b>	△4,100	1,850	<b>1,250</b>	△600
<b>連結合計</b>	<b>54,000</b>	<b>50,000</b>	<b>△4,000</b>	<b>2,200</b>	<b>1,750</b>	<b>△450</b>

【営業利益】



【純利益】



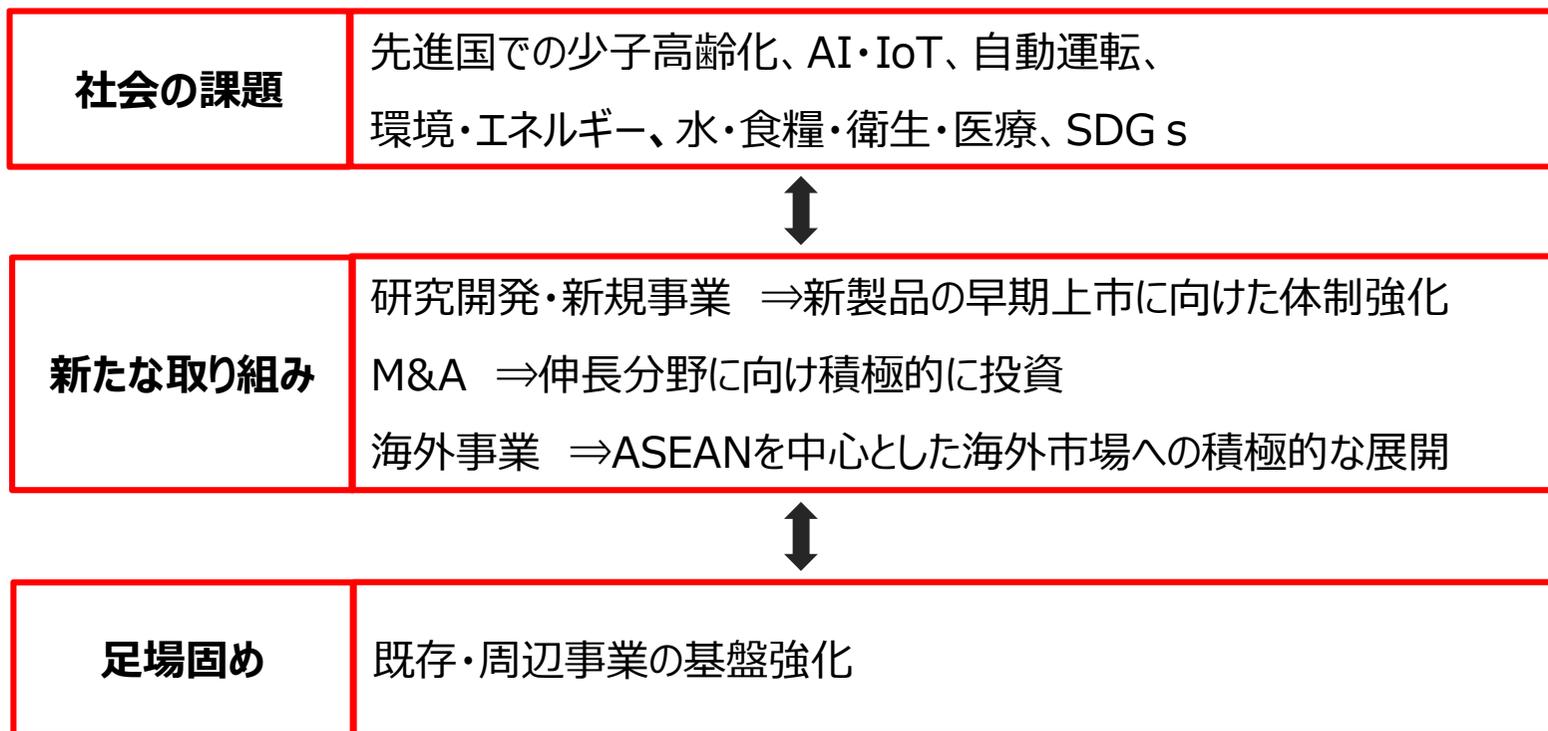
2019年度～2021年度中期経営計画

# ワクワク21

<統合報告書P13～14ご参照>

利益指向で事業の足場固めを積み重ね、

新たな取り組みに向けた経営資源投入を推進



## マテリアリティの特定

- 安心・安全で生き活きとした職場環境づくり
- 信頼性・透明性・収益性のある経営基盤の強化
- 地域社会との共生
- 豊かな社会創造への貢献

## 統合報告書発行

3か年の中期経営計画「ワクワク21」と並行して内容の充実へ

カーリットレポート2019



# 開発品の進捗

## 特殊電池用材料開発

# 多様化する電池ニーズに対応した特殊電極の開発

### 概要

- 小面積で高容量の電池用特殊電極
- 耐熱性や曲げ耐性、高容量等、特殊な用途の電池に対応したユニークな性質を持つ
- 製品採用に向け、サンプル評価中  
様々なデバイスへの発展、導入を期待

### 採用例

- スマートカード



カードに収まるような  
超薄型電池

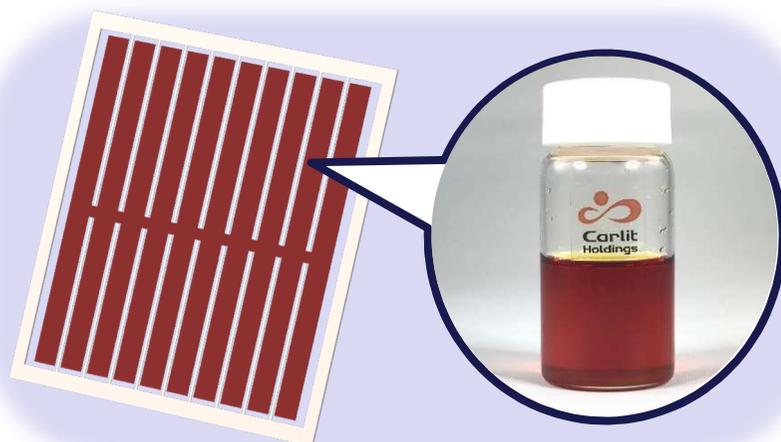
- ウェアラブルデバイス
- IoTデバイス



※画像は全てイメージです

## 有機太陽電池用電解液の開発

# 室内光を用いた、IoT向けエネルギーハーベスト技術



有機太陽電池（イメージ）

有機太陽電池用電解液

### 概要

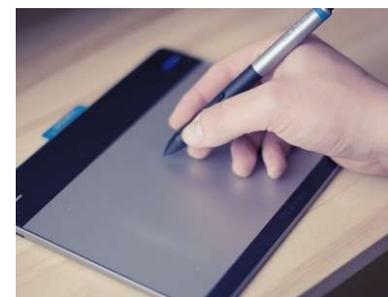
- 有機太陽電池は室内光で効率よく発電できる新たな発電素子
- 耐久性と安全性に優れた新規電解液を開発
- IoT用センサやモバイル電子ペーパー向け電源として期待

### 採用例

- 各種センサ（IoT用途）



- モバイル電子ペーパー

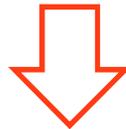
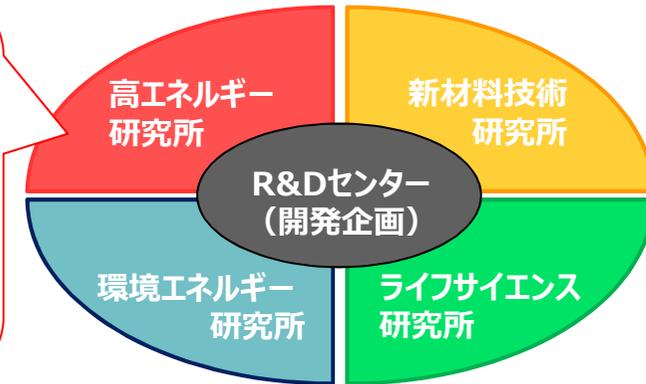
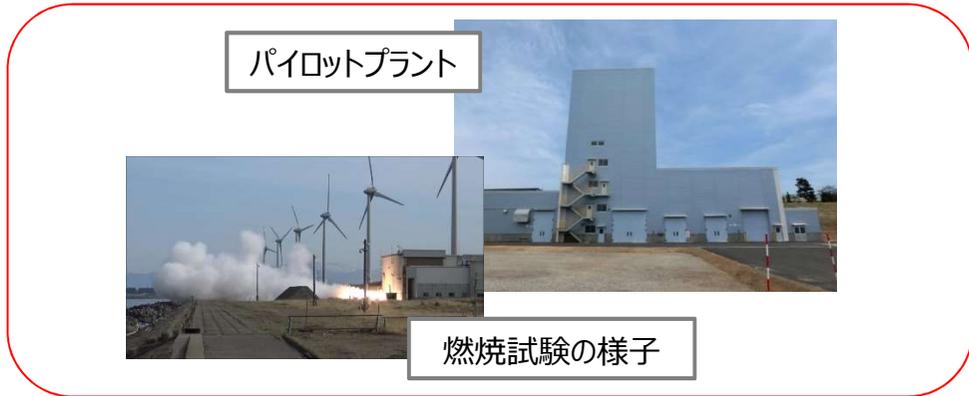


※画像はイメージです

**固体推進薬の開発**

**民間ロケット事業へ向けた取り組み強化**

**旧体制**



**新体制**



宇宙関連事業を幅広く見据えた研究開発を継続

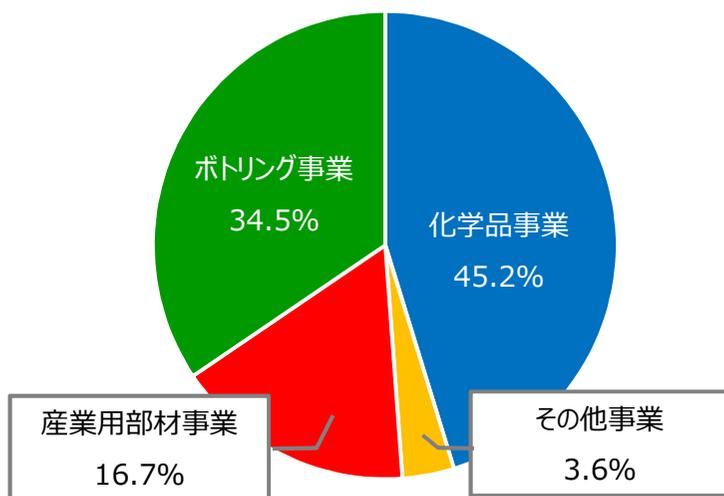


**2019年10月 事業会社へ移管**

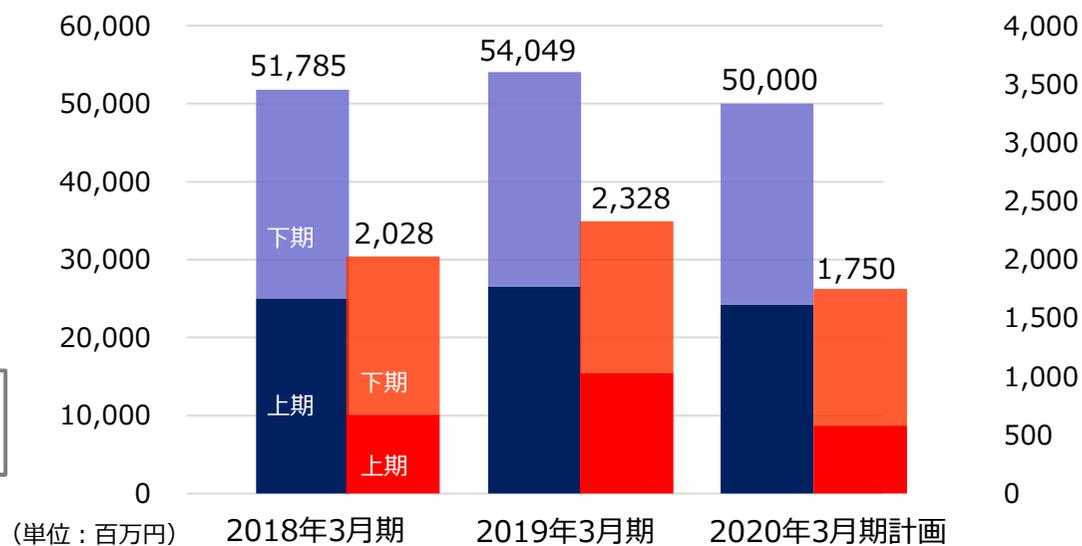
日本カーリット	宇宙産業部	民間宇宙開発へ照準を絞った営業活動の実施
	固体推進薬製造グループ	ロケット発射に用いられる固体推進薬の開発と製造技術の確立

本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役社長 廣橋 賢一
創 業	1918年	設 立	2013年10月 1日
資本金	2,099,530,000円	従業員数	1,116名 (連結)
発行済株式数	24,050,000株 (1 単元100株)	単元株主数	26,736名

<2020年3月期第2四半期 売上高構成比>



<売上高・営業利益推移>



	2019年 3月31日	2019年 9月30日	差異		2019年 3月31日	2019年 9月30日	差異
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
現金及び預金	4,357	4,691	333	支払手形及び買掛金	7,354	5,590	△1,764
受取手形及び売掛金	13,428	10,159	△3,268	有利子負債	10,557	9,642	△914
棚卸資産	4,591	4,781	189	その他負債	9,048	8,448	△599
その他流動資産	842	823	△19	<b>負債合計</b>	<b>26,960</b>	<b>23,681</b>	<b>△3,278</b>
有形固定資産	21,245	20,904	△340	<b>純資産の部</b>			
無形固定資産	145	132	△13	株主資本	23,197	23,163	△33
投資その他の資産	9,101	8,368	△732	その他の包括利益 累計額等	3,555	3,016	△538
				<b>純資産合計</b>	<b>26,752</b>	<b>26,180</b>	<b>△572</b>
	<b>53,712</b>	<b>49,861</b>	<b>△3,851</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>53,712</b>	<b>49,861</b>	<b>△3,851</b>

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,356	1,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,458	△ 321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 700	△ 1,304
現金及び現金同等物の増減額	197	337
現金及び現金同等物の期首残高	4,222	4,286
現金及び現金同等物の期末残高	4,420	4,624

IRに関するお問合せ先：

カーリットホールディングス株式会社

広報部

電話：03-6893-7060

メール：[pr@carlit.co.jp](mailto:pr@carlit.co.jp)

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2019年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。